

平成 29 年度教育委員会主要事業の取り組み方針について

駒ヶ根市では、第4次総合計画及び教育大綱に基づき、「子どもたちが夢と希望にあふれるまちづくり（子育て・教育環境の充実）」、「ともに学び、文化を育むまちづくり（生涯学習・文化・スポーツ振興）」を基本目標に掲げ取り組んでいます。

具体的には、「学校教育の推進」「幼児教育の推進」「家庭づくりの推進」「安心して産み育てることができる環境づくりの推進」、「生涯学習活動の推進」、「文化芸術活動の推進」、「スポーツの推進」を柱に事業を実施しています。

1 学校教育の推進

(1) 学力の向上を図ります

- イ) 市単独で専科教員や外国語指導助手(ALT)の配置し、きめ細かな学習支援を実施
ALT配置:1名→2名配置(H27～小学校へも配置)
- ロ) 地域の人材を活用した「学校支援ボランティア」による放課後学習支援などを実施
- ハ) 小学生2年から中学校3年生まで、標準学力テストを市費で実施し、この結果をもとに授業の改善を図る。
テスト24教科中20教科で全国平均を上回り、その率が83.3%となっている(H28)。
(目標80%) H25-62.5% H26-58.3% H27-83.3%

(2) 地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを進めます

「コミュニティスクール」の推進。(保護者や地域の皆さんが学校運営に関わることにより、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指す。)

指定校:中沢小学校・赤穂南小学校、
準備校:赤穂東小学校(H29 指定予定)、東伊那小学校(H29 指定予定)

(3) 安全な学校施設の整備を進めます

- イ) 東中学校特別教室棟の改築、赤穂南小学校・東中学校の体育館吊り天井の改修。
(未改修吊り天井 赤穂小学校)
- ロ) 赤穂東小学校にエレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。
- ハ) 新竜東学校給食センターの整備に向けた検討

2 幼児教育の推進

(1) 体力・運動能力の向上を図ります

- イ) 外遊びや群れ遊びを活用した幼児期の運動遊びの実施
- ロ) 十二天の森などを活用し、豊かな自然に親しむ駒ヶ根版自然保育の推進
(市内 12 園が 10 月に、長野県「信州型自然保育」の認定)
- ハ) 新経塚保育園の園庭が芝生化されたことによる裸足の外遊び

(2) 子育て世帯の支援を充実します

経塚保育園に併設の「子育て支援センター」は、乳幼児家庭の交流の場としての「子育てひろば」に加え、「一時預かり」「病後児保育」も集約し、機能強化を図った。

特に、「子育て広場」は、床面積を拡大し、飲食スペース、屋外の遊び場を整備。「きつずらんど」や「あそびのもり」と連携し、子育て世代への支援の充実を図る。

(3) 発達特性に対する支援を実施します

発達特性を持ったお子さんには、早期の発見と早期の対応が必要とされている。健診や相談、フォロー事業、「つくし園」における訓練などを充実する。

(4) 少子化対策として、子育て世代の負担軽減(保育料の軽減)を図ります

- イ) 第3子の保育料を50%軽減し、第4子以降を無料としています。本年 9 月から実施しました未満児保育や3歳以上児の保育料軽減についても引き続き実施
- ロ) フルタイムで働く家庭への支援として、11 時間保育を継続して実施

(5) 病児保育を引き続き実施します

市内医療機関に委託し、病児・病後児保育を実施

3 子育てによるこびを感じる家庭づくりの推進

(1) 放課後の児童の預かりなど家庭の支援を進めます

共働きの家庭等への支援のため、子ども交流センターにより、安心して働ける環境づくりを進める。

(2) 子育て情報の提供を充実します

子育て支援の情報等をタイムリーに提供するため、子育てアプリ「こまっぷ」の活用を進める。(成長記録、子育て情報、予防接種、子育て施設地図等掲載)

4 安心して産み育てることができる環境づくりの推進

(1) 出産後の育児や体の不安の解消を図ります

妊産婦支援のため、産後ケア事業として、産科医院・助産院との連携による宿泊支援、日帰りのディケア型支援について、利用者負担を5割から3割に軽減し、継続実施。育児・母乳相談の支援事業については、本年度より、対象期間を拡大(半年→1年半に)

(2) 不妊治療の経済的・精神的な負担の軽減を図ります

本年度から、不妊治療助成を拡大(一般不妊治療への拡大)するとともに、新たに不妊症に悩む方のカウンセリングを行い、メンタル面の支援を実施

5 ホストタウン事業(エル・システム事業)の推進

(1) 音楽を通じて生きる力をはぐくむ事業(エル・システム)を推進します

イ) 市内の子どもたちへの音楽教育を通じて、忍耐力や協調性、自己表現力などの社会性を身につけることを目的とする。

ロ) 具体的には、エル・システムジャパンと協働で、既存の市内小中学校での音楽系部活動の拡充で、週末教室を別枠で展開することで、当該学校児童生徒以外に開かれた仕組みをつくる。

ハ) 未就学児へも充実した教育環境を提供するため、弦楽器教室を実施する。

6 生涯学習活動の推進

(1) 十二天の森の整備・活用を図ります

森としての自然環境を守りつつ、子どもたちや市民が活用できるよう整備を進める。間伐、遊歩道などの整備の実施

(2) 赤穂公民館の整備を進めます

耐震性に問題がある上に、老朽化が進んでいることから建て替えの方向で検討。H29 基本設計、H30 実施設計、H31 本体工事とする年度計画に従って調整、検討する。建設場所は、市の公共施設管理計画の基本的な考え方である「公共施設の集約化を図り、効率的な施設運営・事業実施を図る」とすることを踏まえ、検討する。

7 文化財の保存・活用と文化芸術活動の推進

(1) 文化財保存保護事業を進めます

旧竹村家等文化財の保護と新たな文化財の指定の推進

(2) 創造的な文化芸術活動を進めます

文化会館における自主事業の実施及び文化団体・グループへの活動支援

(3) 地元の魅力を再発見し、郷土愛を生む活動を進めます

中央アルプスジオパーク構想の推進

8 スポーツの推進

(1) 市民スポーツ・生涯スポーツを推進します

信州駒ヶ根ハーフマラソン、かけっこ教室、トップアスリートとの交流事業の実施

(2) 国民体育大会への対応を進めます

平成 39 年度開催予定の長野国体の駒ヶ根市会場種目の選定